



村上尚保様

# 市民貢献人

会報

支見後市小牧苦  
会絡等員援支  
規敏河三：人発行  
1927-38 ☎  
2927-38 FAX

46人目

## 村上尚保氏市民後見人受任

### 職員の方々の負担が

### 少しでも減ると良いかと 村上尚保

成年後見支援センターに週3日程、出勤しての事務補助と、休日には後見支援員をさせていただいている村上と申します。

センターに入る前の令和4年春の後見人養成講座を受講しました。同期受講者には現在、センターで一緒に働いている方が二人もい

ます。

養成講座では初めて聞く内容も多く、知らない語彙に振り回されました。

そして、その年の10月から縁あって後見センターで働きたのですが、そこでの活動を通していろいろ理解が深まりました。

市民後見人の方のサポートをしているセンター職員の献身的な活動を見ていると頭のさがる思いの連続でした。

社会福祉協議会が法人として、後見人等を受任している方の人数は、私が入った1年半前は80数人だったのが、現在は百30人以上でますます職員の方の負担は増大するばかりです。

そんな職員の方々の負担が少しでも減ると良いかと思ひ、この度、市民後見人を受任することにしました。利用者さんとは以前から

接している方で、コミュニケーションは取れる方です。受任当初は預金口座の名義変更等の手続きがあり、煩雑なこともありましたが、一つ一つセンターの職員の方が丁寧の説明してくれたので無事、乗り越えることが出来ました。

受任後、短期間で後見支援員としては知りえないことも沢山あって、思えば心地好い達成感もあります。

この歳になって初めて知ったことも多く勉強の日々です。

残念ながら、利用者さんはコロナ感染から体調を崩して入院してしまい、当分の間は退院の目途はたつていません。

今後は親族の方や病院職員の方と相談しながら、利用者さんの力になっていきたいと考えています。

47人目

## 松田敏彦氏市民後見人受任

何よりその方々から

元気をいただくために・・・

松田敏彦



松田敏彦様

認知症や障がいなどは決して他人事ではなく、明日は我が身なのです。

私は現役時代、福祉業務で多くのボランティアの力を借りてきました。「困っている時はお互い様だよ」とボランティア。その言葉に改めて人の温かさを知り、自分が動けるうちに何かで

きることはないかと考えました。

二年ほど前、市民後見人養成講座で制度を学び、分厚いテキストを手に理解力の乏しさを実感。また講師陣による経験談では、そこまで担うのかという思いが。

その後、成年後見支援センターに後見支援員として身を置き、職員の業務内容に触れると、前向きではなく、後ろ向きの気持ちになったことあります。

縁あって今年5月に市民後見人となり、その方と接しているうちに、何か情のよなもの湧いてきました。

面会後「来るのを待っているよ」と言われ、互いに手を振ってその場を離れると、その方と関わっていることにより、実は私自身が、その方から元気をいただい

ていることに気付かされません。

今後、様々な方との出会いがあるかと思えます。

難題を抱えた時には、後見センターに相談をと大船に乗った気持ちで活動を続けていきたいと思っております。

何よりその方々から元気をいただくために・・・。

